

# 日本情報地質学会 2013 年度シンポジウム —地質情報等の三次元モデリングとCIMについて—

国土インフラの構築と維持・管理，国民生活の防災・減災，環境保全や資源開発などに役立てるため，地質に代表される基盤的情報を有効的に利活用する必要があります。それには，地表や地下空間の地質構造や物性などを推定する三次元モデリング手法と，実用的なシミュレーション方法の確立が必須です。このような背景を見据え，日本情報地質学会は，地質情報等の空間モデリング手法について，平成 22 年度は「基礎情報とリンクした三次元地質モデリング手法」，平成 23 年度は「空間モデリングによる地質情報の利活用」さらに平成 24 年度は「地形・地質・地球物理情報の三次元モデリング」をメインテーマとしたシンポジウムを開催してきました。

今年度は，国土交通省が策定中の CIM (Construction Information Modeling/Management) の将来像との関わりを含めて，三次元地下探査手法，地下データを用いたモデリングとシミュレーションに関する講演シンポジウムを下記のように開催します。

主 催：日本情報地質学会

共 催：独立行政法人 産業技術総合研究所，一般社団法人 資源・素材学会 探査工学部門委員会  
一般社団法人 全国地質調査業協会連合会

後 援：日本地質学会情報地質部会

日 時：2013 年 11 月 13 日 (水) 13:00—17:30

会 場：産業技術総合研究所・臨海副都心センター 本館 4 階 第 1 会議室(412)

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/guidemap/tokyo\\_waterfront/tokyo\\_waterfront\\_map\\_main.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/guidemap/tokyo_waterfront/tokyo_waterfront_map_main.html)

「新橋」から「ゆりかもめ」で 16 分「テレコムセンター」下車，徒歩 5 分

予稿集：PDF 形式の講演予稿集を学会ホームページに掲載しますので，各自印刷して持参ください。

参加費：シンポジウム 1,000 円，意見交換会 3,000 円(予定)

スケジュール

13:00—13:10	主催者挨拶
13:10—13:50	物理探査による河川堤防の 3 次元可視化とモデリング 高橋 亨 [深田地質研究所]
13:50—14:30	浅部地下構造の三次元モデリング：沖積層基底面モデルとボクセルモデルとの統合 木村 克己 [産業技術総合研究所]・花島 裕樹 [筑波大学]
14:30—15:10	ASTERGDEM2 及び SRTM-3DEM から作る精密傾斜量図について—地質情報との 関連において— 井上 誠 [地球情報・技術研究所] 矢島 太郎・三石 真祐瞳・両角 春寿 [石油天然ガス・金属鉱物資源機構]
15:10—15:30	休憩
15:30—15:50	CIM の現状と将来像について 中田 文雄 [川崎地質, 国交省 CIM 検討委員会委員]
15:50—16:30	CIM における 3D モデルの属性利用について 山根 裕之・椎葉 航・新 良子 [伊藤忠テクノソリューションズ] 小林 一郎 [熊本大学]
16:30—17:10	CIM 試行案件の多くで使われた 3 次元設計手法と利用例について 西谷 仁 [大塚商会]
17:10—17:30	総合討論，主催者挨拶
17:45—19:15	意見交換会(テレコムセンター駅周辺)

連絡先：日本情報地質学会 office@jsgi.org

**【参加ご希望の方】** 当日参加も承りますが，人数の把握をするために，見込で構いませんので参加申し込みを頂ければ幸いです。参加申し込みは，件名に「情報地質シンポジウム参加申込」と明記して，御名前・御所属・e-mail アドレスを上記アドレスまでお送り下さい。よろしく，ご協力をお願いします。